

令和 7 年度使用西多摩地区町村立学校教科用図書＜中学校＞ 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立学校教科用図書採択協議会

	社 会【地理的分野】(帝国書院)	社 会【歴史的分野】(帝国書院)
内 容	①「身近な地域の調査」の単元で、東京都練馬区大泉地域を事例にした記述がある。 ②巻頭 6 ページの二次元コードのコンテンツを活用して、基礎的・基本的な知識を押さえられるよう配慮されている。 ③巻頭 5 ページから 10 ページにかけて、教科書を活用した学び方や地理的な見方・考え方、同社発行の地図帳の活用方法が記載されている。	①生徒の興味・関心を高められるよう、見開きの半分程度を写真などの資料が占めている。 ②見開きごとにある学習課題に対して、「確認しよう」や「説明しよう」という問いが設定されており、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③特設ページやコラム、二次元コードコンテンツが充実しており、生徒の主体的な学習が促されるような配慮がされている。
構成・分量	①298 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「問い」、「学習課題」、「本文」、「確認しよう・説明しよう」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「学んだことを確かめよう」、「学習内容を振り返ろう」、章、節、単元の問いについて「考えをまとめよう」の構成である。 ④資料と文の割合は 6 対 4 である。	①314 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認しよう・説明しよう」という構成になっている。 ③章の初めに単元を見通し、問いを確認し、単元の振り返りで学習内容を整理する構成になっている。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。問いを確認し、学習事項の確認として知識・技能を、章の振り返りでは思考・判断・表現を目的とした活動の設定がある。また思考ツールを使っている。 ⑤近代現代は 161 ページからである。 ⑥資料と文の割合は 6 対 4 である。
表記・表現	①横書き。文章は敬体文、平易な表現で具体的に記述。文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②掲載資料はカラー刷り、カラーユニバーサルデザインに基づいている。資料に付した「図番号」を本文に付している。図版に背景色や囲み線を付けるなどして、図版と本文を区別しやすくしている。「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の導入「写真で眺める」に大きく鮮やかな写真を掲載している。また、「日本の諸地域」冒頭ではイラスト地図を掲載している。 ③本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字、また固有名詞や地理用語には適宜ふりがなが付されている。本文ページ脚注欄に「小学校・歴史・公民・他教科との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容が確認できるよう、関連用語が提示されている。	①横書き、文章は敬体文、平易な表現で具体的に記述している。文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②掲載資料はカラー刷り、カラーユニバーサルデザインに基づいている。資料に付した「図番号」を本文に付している。図版に背景色や囲み線を付けるなどして、図版と本文を区別しやすくしている。各章の冒頭に、年表と各時代の社会の様子をイラストで概観させる「タイムトラベル」を見開きで掲載している。また、「世界とのつながりを考えよう」で、イラスト・世界地図を 6 テーマ掲載。巻末の折り込み歴史年表は 3 ページで全時代を掲載している。 ③本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字、また固有名詞や歴史用語には適宜ふりがなが付されている。章扉で小学校の学習内容を振り返るイラストを掲載している。
使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、大きい写真や資料などを使用している。また導入時では大観できる写真を掲載している。 ②事例や体験では、「未来に向けて」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ③二次元コードは各用語の説明、問題など多彩であり、GIS 教材を収録している。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、単元の導入で時代の特色をつかめる見開きのイラストを使用している。 ②印刷製本では、年表でのインデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「未来に向けて」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ④二次元コードは各用語の説明、問題など多彩であり、イラスト集を収録している。

令和7年度使用西多摩地区町村立学校教科用図書＜中学校＞ 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立学校教科用図書採択協議会

	社 会【公民的分野】(帝国書院)	地 図(帝国書院)
内 容	①特設ページやコラムが豊富に用意され、生徒の興味・関心が高まるような工夫がされている。(巻頭6ページ参照) ②見開きごとに「確認しよう」「説明しよう」のコーナーがある。また、側注解説があり、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「アクティブ公民」や「未来に向けて」などのコラムや思考ツールの活用方法、二次元コードコンテンツを通して、主体的な学習が促されるよう配慮されている。	①資料や写真が見開きで最大12あり、生徒の興味・関心を高められるような構成になっている。また、適切な箇所にふりがなが付されており、発達段階にも配慮されている。 ②5ページから8ページにかけて、基本的な地図の見方を学習することができる内容が書かれている。 ③生徒が主体的に学習できるよう、「地図で発見！」の問いが148か所設けられている。
構成・分量	①250ページあり、見開き2ページで1単位時間の内容となっている。 ②「現代社会」がP1～28、「政治」がP29～114、「経済」がP115～P180、「国際」がP181～214という構成である。 ③見開き1時間の紙面が「導入資料」、「学習課題」、「本文資料」、「確認しよう・説明しよう」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「単元の見通し」が初めにあり、「学習を振り返ろう」で学習のまとめや振り返りを行う構成となっている。	①198ページあり、世界は州ごと、日本は地方ごとに分けられている。 ②巻末「資料索引」では、国名、都道府県名など、それぞれの事項によって色分けされている。 ③日本列島の一般図等は巻末にある。また周辺の様子において、日本の領域について、東西南北端の写真資料がある。
表記・表現	①横書き、文章は敬体、平易な表現で具体的に記述している。文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②掲載資料はカラー刷り、カラーユニバーサルデザインに基づいている。図版に背景色や囲み線を付けるなどして、図版と本文を区別しやすくしている。資料に付した「図番号」を本文に付している。1時間の課題となる資料を見開き左上に大きく掲載している。部や章の導入として「学習の前に」が見開きで設けられ、学習内容を見通すためのイラストが掲載されている。 ③本文の下段ページに「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。ふりがなは重要語句に適宜付している。	①文字にユニバーサルデザインフォントを使用している。重要な国名や主要都市名など、地名に白色系の縁取りを付けている。 ②イラストを挿入した鳥瞰図を掲載している。SDGs ゴールの一覧を掲載し、該当する資料にSDGs マークを付けている。資料図は縮尺を統一。人権学習に資する資料が掲載されている。歴史的分野・公民的分野と関連する資料にはそれぞれのマークを付けている。 ③地図中の地名の漢字には全てふりがなを付している。学習上重要な「国名」「首都名」には欧文が併記されている。学習上重要な地名は大きく太い字で記されている。日本の一般図の記載要素のうち、産物や環境に関するものは絵記号が用いられている。
使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として大きい写真を使用している。また導入時では実社会のイラストを掲載している。 ②印刷製本では、インデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「未来に向けて」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ④二次元コードは各用語の説明、問題など多彩であり、法令集を収録している。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、歴史や公民・修学旅行などにも活用できるように作成している。 ②印刷製本では、様々なイラストを掲載し、紙面も大きい。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、SDG sに対応した資料を掲載している。 ④二次元コードは小学校の振り返りを収録している。